

C-3死因順位・死亡率(人口10万対)、年次別・全国
(全国)

年次	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位		第6位		第7位		第8位		第9位		第10位	
	死因	死亡率	死因	死亡率	死因	死亡率	死因	死亡率	死因	死亡率	死因	死亡率	死因	死亡率	死因	死亡率	死因	死亡率	死因	死亡率
17('05)	悪性新生物	258.3	心疾患	137.2	脳血管疾患	105.3	肺炎	85.0	不慮の事故	31.6	自殺	24.2	老衰	20.9	腎不全	16.3	肝疾患	13.0	慢性閉塞性肺疾患	11.4
18('06)	悪性新生物	261.0	心疾患	137.2	脳血管疾患	101.7	肺炎	85.0	不慮の事故	30.3	自殺	23.7	老衰	22.0	腎不全	16.8	肝疾患	12.9	慢性閉塞性肺疾患	11.4
19('07)	悪性新生物	266.9	心疾患	139.2	脳血管疾患	100.8	肺炎	87.4	不慮の事故	30.1	自殺	24.4	老衰	24.4	腎不全	17.2	肝疾患	12.8	慢性閉塞性肺疾患	11.8
20('08)	悪性新生物	272.3	心疾患	144.4	脳血管疾患	100.9	肺炎	91.6	不慮の事故	30.3	老衰	28.6	自殺	24.0	腎不全	17.9	肝疾患	12.9	慢性閉塞性肺疾患	12.3
21('09)	悪性新生物	273.5	心疾患	143.7	脳血管疾患	97.2	肺炎	89.0	老衰	30.7	不慮の事故	30.0	自殺	24.4	腎不全	18.1	肝疾患	12.7	慢性閉塞性肺疾患	12.2
22('10)	悪性新生物	279.7	心疾患	149.8	脳血管疾患	97.7	肺炎	94.1	老衰	35.9	不慮の事故	32.2	自殺	23.4	腎不全	18.8	慢性閉塞性肺疾患	12.9	肝疾患	12.8
23('11)	悪性新生物	283.2	心疾患	154.5	肺炎	98.9	脳血管疾患	98.2	不慮の事故	47.1	老衰	41.4	自殺	22.9	腎不全	19.4	慢性閉塞性肺疾患	13.2	肝疾患	13.0
24('12)	悪性新生物	286.6	心疾患	157.9	肺炎	98.4	脳血管疾患	96.5	老衰	48.2	不慮の事故	32.6	自殺	21.0	腎不全	19.9	慢性閉塞性肺疾患	13.0	肝疾患	12.7
25('13)	悪性新生物	290.3	心疾患	156.5	肺炎	97.8	脳血管疾患	94.1	老衰	55.5	不慮の事故	31.5	自殺	20.7	腎不全	20.0	慢性閉塞性肺疾患	13.1	大動脈瘤及び解離	12.8
26('14)	悪性新生物	293.5	心疾患	157.0	肺炎	95.4	脳血管疾患	91.1	老衰	60.1	不慮の事故	31.1	腎不全	19.8	自殺	19.5	大動脈瘤及び解離	13.1	慢性閉塞性肺疾患	12.9
27('15)	悪性新生物	295.5	心疾患	156.5	肺炎	96.5	脳血管疾患	89.4	老衰	67.7	不慮の事故	30.6	腎不全	19.6	自殺	18.5	大動脈瘤及び解離	13.5	慢性閉塞性肺疾患	12.6
28('16)	悪性新生物	298.3	心疾患	158.4	肺炎	95.4	脳血管疾患	87.4	老衰	74.2	不慮の事故	30.6	腎不全	19.7	自殺	16.8	大動脈瘤及び解離	14.5	肝疾患	12.6
29('17)	悪性新生物	299.5	心疾患	164.3	脳血管疾患	88.2	老衰	81.3	肺炎	77.7	不慮の事故	32.4	誤嚥性肺炎	28.7	腎不全	20.2	自殺	16.4	血管性等の認知症	15.7
30('18)	悪性新生物	300.7	心疾患	167.6	老衰	88.2	脳血管疾患	87.1	肺炎	76.2	不慮の事故	33.2	誤嚥性肺炎	31.0	腎不全	21.0	血管性等の認知症	16.5	自殺	16.1
令和1年('19)	悪性新生物	304.2	心疾患	167.9	老衰	98.5	脳血管疾患	86.1	肺炎	77.2	誤嚥性肺炎	32.6	不慮の事故	31.7	腎不全	21.5	血管性等の認知症	17.3	アルツハイマー病	16.8
2年('20)	悪性新生物	306.6	心疾患	166.6	老衰	107.3	脳血管疾患	83.5	肺炎	63.6	誤嚥性肺炎	34.6	不慮の事故	30.9	腎不全	21.8	アルツハイマー病	16.9	血管性等の認知症	16.9
3年('21)	悪性新生物	310.7	心疾患	174.9	老衰	123.8	脳血管疾患	85.2	肺炎	59.6	誤嚥性肺炎	40.3	不慮の事故	31.2	腎不全	23.4	アルツハイマー病	18.7	血管性等の認知症	18.2
4年('22)	悪性新生物	316.1	心疾患	190.9	老衰	147.1	脳血管疾患	88.1	肺炎	60.7	誤嚥性肺炎	45.9	不慮の事故	35.6	腎不全	25.2	アルツハイマー病	20.4	血管性等の認知症	20.0

- 注) 1) 平成7年からICD-10の死因分類が適用されているが、平成6年以前ICD-9の死因順位の選び方の分類をそのまま用いている。
ICD-9をICD-10に対応させる名称は下記のとおりである。
「肺炎及び気管支炎」→「肺炎」(分類変更)、「慢性肝疾患及び肝硬変」→「肝疾患」(分類変更)、「腎炎、ネフローゼ」症候群及びネフローゼ」→「腎不全」(分類変更)
2) 平成6年以前の死亡数は旧分類によるものである。
3) 平成6年までの死因名は次のように略称した。
「精神病の記載のない老衰」→「老衰」、「慢性肝疾患及び肝硬変」→「肝硬変」、「腎炎、ネフローゼ」症候群及びネフローゼ」→「腎炎等」
「その他の新生児固有の疾患及び性質不明の未熟児」→「新生児固有の疾患」
4) 昭和54年から平成6年までの死因名は次のように略称した。
「不慮の事故及び有害作用」→「不慮の事故」
5) ICD-10の一部改正に伴う、平成18年からの名称変更は下記のとおりである。
「血管性及び詳細不明の痴呆」→「血管性及び詳細不明の認知症」、「尿路性器系の疾患」→「腎尿路生殖器系の疾患」、「その他の尿路性器系の疾患」→「その他の腎尿路生殖器系の疾患」
6) ICD-10の一部改正に伴う、分類名称の追加は下記のとおりである。
「特殊目的用コード」、「重症急性呼吸器症候群(SARS)」

C-3 死因順位・死亡率(人口10万対)・年次別・大阪府
(大阪府)

年次	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位		第6位		第7位		第8位		第9位		第10位	
	死因	死亡率	死因	死亡率	死因	死亡率	死因	死亡率	死因	死亡率	死因	死亡率	死因	死亡率	死因	死亡率	死因	死亡率	死因	死亡率
17 ('05)	悪性新生物	262.5	心疾患	124.0	肺炎	80.4	脳血管疾患	78.1	不慮の事故	24.8	自殺	24.0	肝疾患	16.4	腎不全	15.5	老衰	10.7	慢性閉塞性肺疾患	10.6
18 ('06)	悪性新生物	264.6	心疾患	123.9	肺炎	82.4	脳血管疾患	75.6	不慮の事故	24.3	自殺	22.7	肝疾患	17.4	腎不全	16.7	老衰	11.4	糖尿病	11.1
19 ('07)	悪性新生物	271.7	心疾患	126.9	肺炎	83.3	脳血管疾患	74.0	自殺	25.5	不慮の事故	24.5	肝疾患	16.2	腎不全	16.0	老衰	12.7	糖尿病	11.0
20 ('08)	悪性新生物	277.8	心疾患	134.5	肺炎	91.0	脳血管疾患	75.2	自殺	23.9	自殺	23.5	腎不全	17.2	肝疾患	16.7	老衰	16.0	糖尿病	11.0
21 ('09)	悪性新生物	279.8	心疾患	135.6	肺炎	88.0	脳血管疾患	71.4	自殺	24.1	不慮の事故	23.8	腎不全	18.0	老衰	17.3	肝疾患	15.5	慢性閉塞性肺疾患	11.7
22 ('10)	悪性新生物	282.4	心疾患	141.6	肺炎	96.1	脳血管疾患	71.9	不慮の事故	25.8	自殺	24.1	老衰	19.4	腎不全	19.0	肝疾患	16.5	慢性閉塞性肺疾患	12.4
23 ('11)	悪性新生物	289.9	心疾患	143.6	肺炎	99.3	脳血管疾患	72.7	不慮の事故	27.1	老衰	22.9	自殺	22.5	腎不全	18.2	肝疾患	17.0	慢性閉塞性肺疾患	13.1
24 ('12)	悪性新生物	291.0	心疾患	150.6	肺炎	98.7	脳血管疾患	71.2	老衰	28.8	不慮の事故	26.6	自殺	21.6	腎不全	21.3	肝疾患	15.9	慢性閉塞性肺疾患	12.0
25 ('13)	悪性新生物	293.8	心疾患	150.2	肺炎	100.5	脳血管疾患	69.5	老衰	32.2	不慮の事故	26.3	腎不全	21.0	自殺	20.8	肝疾患	15.7	慢性閉塞性肺疾患	12.9
26 ('14)	悪性新生物	294.9	心疾患	146.7	肺炎	98.5	脳血管疾患	68.1	老衰	36.5	不慮の事故	25.9	腎不全	20.1	自殺	20.0	肝疾患	15.9	慢性閉塞性肺疾患	11.7
27 ('15)	悪性新生物	300.1	心疾患	148.7	肺炎	99.7	脳血管疾患	66.3	老衰	40.6	不慮の事故	26.1	腎不全	20.2	自殺	18.7	肝疾患	16.1	慢性閉塞性肺疾患	12.7
28 ('16)	悪性新生物	299.2	心疾患	152.9	肺炎	101.3	脳血管疾患	64.2	老衰	44.3	不慮の事故	25.9	腎不全	19.2	自殺	17.8	肝疾患	15.8	慢性閉塞性肺疾患	13.2
29 ('17)	悪性新生物	299.4	心疾患	163.3	肺炎	83.6	脳血管疾患	66.8	老衰	51.8	誤嚥性肺炎	31.7	不慮の事故	27.3	腎不全	20.4	肝疾患	17.8	自殺	16.7
30 ('18)	悪性新生物	298.6	心疾患	169.1	肺炎	85.6	脳血管疾患	65.6	老衰	58.1	誤嚥性肺炎	34.3	不慮の事故	29.1	腎不全	22.5	肝疾患	17.8	自殺	17.0
令和1年 ('19)	悪性新生物	306.6	心疾患	167.8	肺炎	86.4	老衰	66.0	脳血管疾患	65.2	誤嚥性肺炎	36.3	不慮の事故	27.0	腎不全	22.7	肝疾患	16.7	自殺／慢性閉塞性肺疾患	16.0
2年 ('20)	悪性新生物	311.0	心疾患	171.6	肺炎	73.4	老衰	72.6	脳血管疾患	63.3	誤嚥性肺炎	40.4	不慮の事故	27.2	腎不全	23.5	肝疾患	18.0	自殺	17.5
3年 ('21)	悪性新生物	311.5	心疾患	182.1	老衰	89.0	肺炎	67.5	脳血管疾患	66.0	誤嚥性肺炎	46.4	不慮の事故	27.3	腎不全	24.2	肝疾患	18.3	自殺	17.3
4年 ('22)	悪性新生物	315.6	心疾患	204.1	老衰	107.4	脳血管疾患	70.0	肺炎	69.4	誤嚥性肺炎	55.5	不慮の事故	32.0	腎不全	27.4	肝疾患	19.8	自殺	19.1

注) 1) 平成7年からICD-10の死因分類が適用されているが、平成6年以前ICD-9の死因順位の選び方の分類をそのまま用いている。
ICD-9をICD-10に対応させる名称は下記のとおりである。
「肺炎及び気管支炎」→「肺炎」(分類変更)、「慢性肝疾患及び肝硬変」→「肝疾患」(分類変更)、「腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ」→「腎不全」(分類変更)
2) 平成6年以前の死亡数は旧分類によるものである。
3) 平成6年までの死因名は次のように略称した。
「精神病の記載のない老衰」→「老衰」、「慢性肝疾患及び肝硬変」→「肝硬変」、「腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ」→「腎炎等」
「その他の新生児固有の疾患及び性質不明の未熟児」→「新生児固有の疾患」
4) 昭和54年から平成6年までの死因名は次のように略称した。
「不慮の事故及び有害作用」→「不慮の事故」
5) ICD-10の一部改正に伴う、平成18年からの名称変更は下記のとおりである。
「血管性及び詳細不明の痴呆」→「血管性及び詳細不明の認知症」、「尿路生殖器系の疾患」→「腎尿路生殖器系の疾患」、「その他の尿路生殖器系の疾患」→「その他の腎尿路生殖器系の疾患」
6) ICD-10の一部改正に伴う、分類名称の追加は下記のとおりである。
「特殊目的用コード」、「重症急性呼吸器症候群(SARS)」